

西海ブロック水産業情報

NO. 66 (平成21年7月～9月)

その他(水産利用加工、水産経済関係、災害等)

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<ul style="list-style-type: none"> ●神経締めによる鮮度保持試験 ●メダイ、マアナゴの成分分析 ●サゴシ加工残渣からのエキス抽出試験 	<p>特記事項なし</p>	<p>【水産資源関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タイラギ調査、漁獲物動向調査(市場調査)を実施。 <p>【水産海洋・漁場保全関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浅海定線調査、漁場環境モニタリング調査(底質、マクロベントス)、サルボウ適正生息環境調査(水質)、貝毒分析(サルボウ) <p>【水産資源関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ウミタケの生息量が少なく、簡易潜水器漁業は操業なし。 ●西部海域のタイラギは現在まで「立ち枯れ斃死」は確認されていない。 ●ビゼンクラゲが非常に多い。 ●クルマエビは9月の漁獲が非常に少ない ●ガザミは、7、8月は昨年並み、9月は昨年より少ないが平年並み ●養殖アワビの販売が不振。センター、栽培協会、漁協、漁業者で販売促進の具体策検討を開始。 ●フグはえ縄、イカ釣り等を対象に、漁場選定に役立つ、広域で詳細な水温情報の提供を開始。 	<p>●研究技術開発</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水産物流通加工強化支援事業 2. 水産加工原料確保のための新原料開発 3. 連携プロジェクト イカ肉の高度有効利用に関する研究 4. 戦略プロジェクト 県産冷凍すり身の新たな製法とその利用法の開発 5. 魚介類の出荷前蓄養と環境馴致による高品質化システム技術開発 6. 血合肉褐変防止技術を基盤とする国際競争力の推進と海外市場展開 7. 地域イノベーション創出研究開発事業「新規海水浄化装置を用いた活イカ輸送システムの開発」 	<p>特記事項なし</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>特記事項なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●平成12年から毎年標識放流(4,000～20,000尾/年)を行っている海域での標識放流カサゴの追跡調査(試験操業)を5月から6月にかけて実施した(放流地点を中心に北側2km、南側4kmの範囲)。全漁獲尾数601尾中、標識魚は67尾で、混獲率は11.2%であった。内訳は平成14年放流魚1尾、15年放流魚3尾、10年放流魚2尾、17年放流魚25尾、8年放流魚23尾、19年放流魚13尾だった。 	<p>特記事項なし</p>	<p>特記事項なし</p>